

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	第一三共フロンティア株式会社平塚工場第二無菌製剤棟	階数	地上4F
建設地	平塚市新町622-1,161-1,161-5,161-9,161-10,161-11,221-1,221-6,222-2,222-3,282-1,282-4,300-3,302-1,302-2,404-1,404-4,471-1,471-7,221-3,161-6,161-7,161-8,222-4,471-6(計25筆)	構造	S造
用途地域	法第22条区域、工業専用地域	平均居住人員	32人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2022年8月24日
敷地面積	12,369 m <sup>2</sup>	作成者	(株)大林組設計本部建築設計第二部
建築面積	4,706 m <sup>2</sup>	確認日	2022年8月26日
延床面積	14,725 m <sup>2</sup>	確認者	(株)大林組設計本部建築設計第二部



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B-: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

- ① 参照値: 100%
- ② 建築物の取組み: 98%
- ③ 上記+②以外の: 98%
- ④ 上記+: 98%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 2.4  
LR2 資源・マテリアル: 2.7  
LR3 敷地外環境: 3.0

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.6

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合	JR平塚駅からバスで15分の工業専用地域に、事務所と複合用途の製薬工場を増築の計画をした。	-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 免振装置の採用。 階高を3.9m以上とし、ゆとりを確保。	Q3 室外環境(敷地内) -
LR1 エネルギー LED照明設備を採用。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓及び節水型便器を採用。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率=98%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される